

巻頭の辞

(Appreciating Contributions of Professor Munehiro Niwa)

学 長 島 田 晴 雄

このたびの丹羽宗弘先生の退職記念号発刊にあたり、丹羽先生の千葉商科大学への多大なご貢献に対し、学長として心から謝意を表したいと思います。

丹羽先生は、大学で物理学を学ばれた後、東京慈恵会医科大学で長年教鞭をとられ、東京慈恵会医科大学で博士（医学）の学位を取得されました。

本学には、平成12年の政策情報学部設置の際に着任され、政策情報学部を設立当初から支えてくださいました。

本学には多くの専任教員の方がいらっしゃいますが、博士（医学）の学位を持っていらした方は丹羽先生ぐらいではないかと思えます。政策情報学部という学問領域を超えて総合的に問題を発見し、解決するというコンセプトの学部において、医学や物理学にも精通していらした丹羽先生の存在は大変貴重であったと思えます。

また、政策情報学部ではウェルネスという特徴的な体育の指導を行っています。丹羽先生はウェルネス委員会の委員長を務められたり、環境へのご理解も深いものをお持ちでしたので、大学の環境委員会の委員長を務めてくださったりと丹羽先生はその幅広い学識を活かし、様々な分野でご活躍くださいました。

さらには、剣道部の部長として熱心に学生指導にもあたってくださいましたが、体育会への強い思いもお持ちでいらして、大学で体育会の活性化に取り組もうとプロジェクトを実施した際には、快くお力添えを戴きました。

丹羽先生におかれましては、このたび定年退職を迎えられましたが、引き続き本学へのご理解とご支援を戴けますようお願いしたいと思います。また研究においても、丹羽先生は、これまで長年「医療における診断技術の可視化」を目的とする基礎研究に注力をされてこられました。今後ますます研究を深められ、日本の医療へのさらなるご貢献を大いに期待したいと思います。